

事前のお知らせ



# 大災害！ その時、ペットはどうなるの？

～練馬区災害時ペット対策フェアを開催～

と き 12月6日(土) 12時30分から16時まで

ところ 光が丘第七小学校跡施設 (練馬区光が丘2-6-1)

6日、区は「練馬区災害時ペット対策フェア」を初めて開催する。災害時のペット問題をより広く知ってもらい、ペットに対する日頃の備えを進めてもらうことが目的。

当日は災害時に避難拠点で設置されるペットスペースを体験できるコーナーを設置するほか、ドッグトレーナーによる「犬のしつけ教室」(申込終了)、災害時のペット問題の専門家である平井 潤子氏(NPO法人アナイス理事長)を招いた講演会などを行う。

区担当者は「飼い主側、避難拠点の運営側の両方から『ペットがいる状態の避難拠点をイメージしにくい』という声が上がっていた。多くの方に参加して頂き、災害時のペット問題を考えるきっかけになれば」と話している。

当日会場受け付け、入場無料。犬の同伴入場可(入場させる場合はリードを付けた状態にすること)。



犬のしつけ教室(イメージ)

## 【災害時のペット問題 ～普及啓発・対策推進が急務】

練馬区では、大災害が発生したとき、自宅が危険であればペット同伴で避難拠点(区立小中学校)に避難することとしている。動物が苦手な人や、動物アレルギーがある人の避難も想定されており、人間とペットが共存できる避難拠点の運営が、大きな課題である。

区は今年6月、動物に関する知識や経験を持ち、災害時のペット対策の中心を担う人材「ペット管理ボランティア」の募集を23区に先駆けて実施するなど、対策を進めてきた。

しかし、「ペットを連れて避難拠点に行ってはいけない」と思っている飼い主や、逆に、「何も備えをしなくても避難拠点でペットの面倒を見てくれる」と思っている飼い主もいるのが実情であり、災害時のペット問題に関する普及啓発と対策の推進が急務となっている。

## 【災害時を想定したペット対策の総合イベント】

ペットのいる避難拠点『見て、感じる』ことができるよう、各種啓発イベントを実施する。

講演会「過去の災害現場でペットをめくり何が起こったのか」(講師：平井 潤子 氏)

災害時を想定したペットスペースの模擬設置 (ペット体験可)

災害救助犬によるデモンストレーション

視覚障害者疑似体験「目隠しをして、アイメイト(盲導犬)と一緒に歩いてみよう」

犬のしつけ教室 ～災害に備えて～

(事前申込制・申込終了。当日は15組の飼い主と犬が参加予定。見学可。)

展示「飼い主が備えるべきペット防災用品」

パネル展示「過去の災害現場でのペット問題」

【問い合わせ】健康部 生活衛生課 管理係 電話03-5984-2483